

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

						福山市立			済美中			学校			
年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）					
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況		◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価
3	課題発見解決力、コミュニケーション力の育成	★	継続	「授業で考えることが面白い」「他者との対話で考えが深まる」と実感できる生徒の割合を増やす。	①各単元・授業での「問い」にこだわりの、生徒の思考を深めることで、振り返りの内容を充実させる。 ②生徒が自分の考えを伝える活動を取り入れたファシリテートを工夫する。	・学びのアンケート「他者の意見を参考に、考えを整理できたり、理解が深まったりする」75%以上。 ・学びの調査結果、県平均（市平均）以上。	【評価指標①88%】単元を貴く「問い」作成の研修を行うなど、こだわった授業づくりをしている。 【評価指標②市平均の国語100%、数学93%、理科102%】教師の指示や説明が減りつつある。	3	3		・自ら考え学ぶための土台となる知識の習得や豊かな情操を育む読書活動の充実。 ・他者との意見交流の場や時間を増やし、表現活動を充実。	【評価指標①88%】単元を貴く「問い」をもとに授業を実施し、校内研修で振り返った。適切な「問い」設定に向けた深い教材理解や、子ども同士の対話を深める手立ての工夫が必要である。 【評価指標②】生徒同士が意見交流する場が増えている。			
1	他者とかかわり合う力・心の育成		新規	済美6行動の「人のために動く」活動を活性化させ、生徒の自己有用感を高める。	行事・部活動・学級活動・生徒会活動等を通じて、生徒が自ら考え、主体的に参加できる環境づくりに取り組む。	・「学級の係や当番の仕事、ボランティアを進んでやっています。」75%以上。	【評価指標84%】学校行事や済美クエストなど生徒主体の活動場を仕組むことができた。	3	3	各活動の中で他者とかかわり合う場面を増やし、振り返り場面で人のために動けた場を肯定的に評価していくことで、心を育成する。	□【評価指標88%】◎部活動合同練習や済美クエストで他者を認めてかかわる活動を仕組み、生徒が考えを出し合う活動に取り組んだ。	3	4	3	活動の後に振り返りをする中で、生活の中で人のために動くことを、生徒同士で認め合えるようにする。生徒を教師が支えて、生徒の自己有用感を高める。
6	信頼される学校づくりの推進		継続	学校が楽しいと思う生徒の割合を増やす。教職員の働き方改革を具体的に進める。	カリキュラム、時間割、部活動等の在り方を工夫し、教職員・生徒が様々な活動を主体的に企画する。	①「学校が楽しいです」の割合を90%以上。 ②時間外勤務時間が月45時間を超える教職員ゼロ。 ③やりがいを感じる教職員80%以上。	【評価指標①88%】 【評価指標②8月のみゼロ、達成率の平均50%（9月まで9月の達成率は72%）】 【評価指標③71.4%】	2	2	特に評価指標③が、昨年と比べて10ポイント上がったが、市平均より17ポイントも低かった。教職員が様々な活動を主体的に企画することでやりがいを感じられるようにしていく。	【評価指標①89%】 【評価指標②8月のみゼロ、達成率の平均76%】	3	2	3	カリキュラム、時間割、部活動等の在り方の見直しを積極的に行う。また見直しをもって計画を立て、時間外勤務時間45時間を超えないように進めていく。教職員がやりがいを感じられるよう、教職員発の取組を励行し、職場の活性化を図る。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。